

# 園だより

2022年12月号  
2022年12月1日発行

## クリスマスプレゼント



クリスマスを迎えるアドベント（待降節）の季節にはいりました。保育園中をツリーやクランツ、リースで飾りイエスさまを迎える準備をしています。アドベントカレンダーを毎日めくり、毎週1本ずつろうそくを灯しながら、讃美歌を歌い、プレゼントを作ってクリスマスまでの期間を楽しみに過ごすのです。年長クラスは、クリスマスページェントというイエスさまの生誕劇を演じますので、賛美歌や自分の役のセリフを一生懸命に覚えて準備をしています。

クリスマスにはプレゼントを贈り合う習慣がありますが、これはなぜか知っていますか？サンタクロースがプレゼントを届けるからでしょうか？

それは、神様が私たちにイエスさまをプレゼントしてくださったからです。『神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛してくださった。それは、御子を信じるものがひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。』

（聖書 ヨハネによる福音書3章16節）

神様のたった一人の子は、人間の姿となって2000年前のベツレヘムの家畜小屋で誕生しました。そして、その生涯は十字架に至る苦難の道でした。そして、十字架の死からの復活（イースター）と、今も生きて働いている（聖霊）ことを信じる人々が、世界中にこの福音を延べ伝えて、キリスト教や教会が広がっていったのです。

神様が最も大切な宝物であるひとり子をくださったほどに、私たちひとり人を愛し大切にしておられます。「君は愛されるために生まれたんだよ」という子ども達へのメッセージが黎明保育園のキリスト教保育の土台なのです。



クリスマスの贈り物は高額なものでもブランドのものでもなく、博士たちが宝物を捧げたように、心のこもったプレゼントを贈り合いたいですね。

園長 三幣典子